

2. 産 業

C0201-1 産業大分類別就業者数

平成27年の常驻地における就業者数は4,524人で、総人口に対する就業率は51.3%である。産業別就業人口の構成比は、第1次産業7.3%、第2次産業42.1%、第3次産業49.8%で、第3次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。

平成7年から平成27年にかけての産業別就業人口の推移を見ると、第1次産業は112人、構成比で2.1%減少、第2次産業は521人、構成比で9.7%減少、第3次産業は437人、構成比で11.1%の増加となっている。

平成27年の従業地における就業者数は4,501人で産業別就業人口の構成比は、第1次産業7.4%、第2次産業54.1%、第3次産業37.7%となっており、第2次産業の就業者数の割合が最も高くなっている。

表2-1-1 産業大分類別常驻地・従業地別就業者数

■常驻地

産 業 大 分 類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
A. 農 業 ， 林 業	438	9.4	390	8.2	423	8.9	304	6.7	327	7.2
うち 農 業	422	9.0	381	8.0	416	8.7	296	6.5	322	7.1
B. 漁 業	2	0.0	3	0.1	2	0.0	0	0.0	1	0.0
第 1 次 産 業 合 計	440	9.4	393	8.2	425	8.9	304	6.7	328	7.3
C. 鉱 業	4	0.1	2	0.0	2	0.0	0	0.0	2	0.0
D. 建 設 業	403	8.6	404	8.4	355	7.4	306	6.7	308	6.8
E. 製 造 業	2,018	43.1	1,943	40.6	1,753	36.8	1,665	36.4	1,594	35.2
第 2 次 産 業 合 計	2,425	51.8	2,349	49.1	2,110	44.2	1,971	43.1	1,904	42.1
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	30	0.6	29	0.6	14	0.3	12	0.3	17	0.4
G. 情報通信業	155	3.3	145	3.0	22	0.5	30	0.7	38	0.8
H. 運輸業，郵便業					108	2.3	135	3.0	109	2.4
I. 卸売・小売業	663	14.2	679	14.2	549	11.5	521	11.4	533	11.8
J. 金融・保険業	62	1.3	62	1.3	65	1.4	78	1.7	76	1.7
K. 不動産業，物品賃貸業	6	0.1	13	0.3	9	0.2	23	0.5	23	0.5
L. 学術研究，専門・技術サービス業	789	16.9	999	20.9			78	1.7	87	1.9
M. 宿泊業，飲食サービス業					182	3.8	206	4.5	168	3.7
N. 生活関連サービス業，娯楽業							133	2.9	117	2.6
O. 教育，学習支援業					167	3.5	171	3.7	170	3.8
P. 医療，福祉					415	8.7	488	10.7	552	12.2
Q. 複合サービス事業					72	1.5	54	1.2	70	1.5
R. サービス業(他に分類されないもの)					525	11.0	156	3.4	182	4.0
S. 公務(他に分類されるものを除く)					109	2.3	113	2.4	98	2.1
第 3 次 産 業 合 計	1,814	38.7	2,040	42.7	2,226	46.7	2,198	48.1	2,251	49.8
T. 分類不能	3	0.1	0	0.0	9	0.2	97	2.1	41	0.9
合 計	4,682	100.0	4,782	100.0	4,770	100.0	4,570	100.0	4,524	100.0

注：平成17年の/は、用いていない産業大分類

資料：国勢調査(各年10月1日)

表2-1-2 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

■従業地

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
A. 農業，林業	456	9.4	425	8.7	430	8.8	306	6.8	330	7.3
うち農業	443	9.1	416	8.5	427	8.7	305	6.8	330	7.3
B. 漁業	4	0.1	4	0.1	3	0.1	0	0.0	1	0.0
第1次産業合計	460	9.5	429	8.7	433	8.8	306	6.8	331	7.4
C. 鉱業	0	0.0	7	0.1	1	0.0	0	0.0	1	0.0
D. 建設業	317	6.5	328	6.7	299	6.1	220	4.9	213	4.7
E. 製造業	2,593	53.5	2,542	51.8	2,419	49.3	2,236	49.7	2,219	49.3
第2次産業合計	2,910	60.1	2,877	58.6	2,719	55.4	2,456	54.6	2,433	54.1
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	16	0.3	10	0.2	5	0.1	1	0.0	3	0.1
G. 情報通信業	73	1.5	67	1.4	19	0.4	21	0.5	30	0.7
H. 運輸業，郵便業					37	0.8	67	1.5	54	1.2
I. 卸売・小売業	550	11.4	581	11.8	467	9.5	448	10.0	410	9.1
J. 金融・保険業	30	0.6	25	0.5	30	0.6	32	0.7	26	0.6
K. 不動産業，物品賃貸業	5	0.1	11	0.2	7	0.1	16	0.4	18	0.4
L. 学術研究，専門・技術サービス業	710	14.7	824	16.8	/	/	96	2.1	89	2.0
M. 宿泊業，飲食サービス業					140	2.9	154	3.4	118	2.6
N. 生活関連サービス業，娯楽業					/	/	72	1.6	66	1.5
O. 教育，学習支援業					301	6.1	108	2.4	109	2.4
P. 医療，福祉					119	2.4	370	8.2	465	10.3
Q. 複合サービス事業					62	1.3	48	1.1	63	1.4
R. サービス業(他に分類されないもの)					490	10.0	121	2.7	152	3.4
S. 公務(他に分類されるものを除く)					86	1.8	82	1.7	70	1.4
第3次産業合計	1,470	30.4	1,600	32.6	1,747	35.6	1,644	36.5	1,698	37.7
T. 分類不能	3	0.1	0	0.0	9	0.2	95	2.1	39	0.9
合 計	4,843	100.0	4,906	100.0	4,908	100.0	4,501	100.0	4,501	100.0

注:平成17年の/は、用いていない産業大分類

資料:国勢調査(各年10月1日)

図2-1 産業大分類別常住地・従業地別就業者数

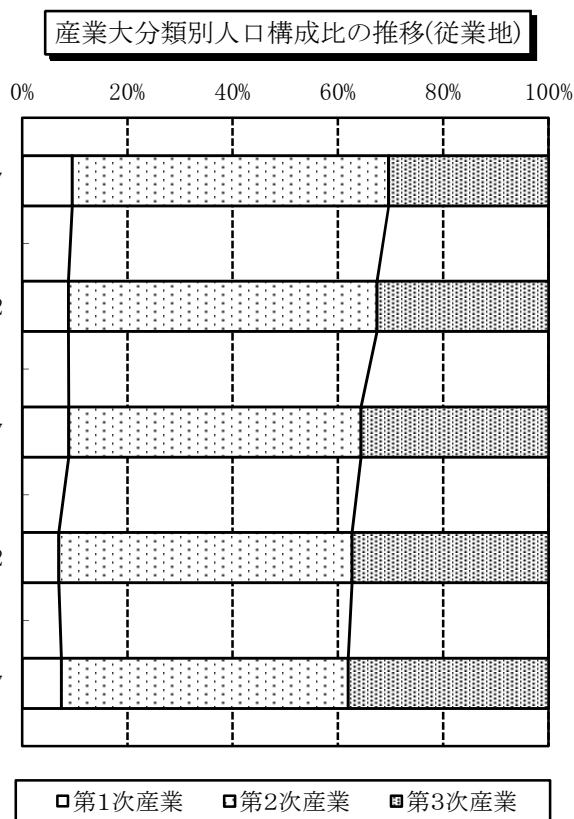
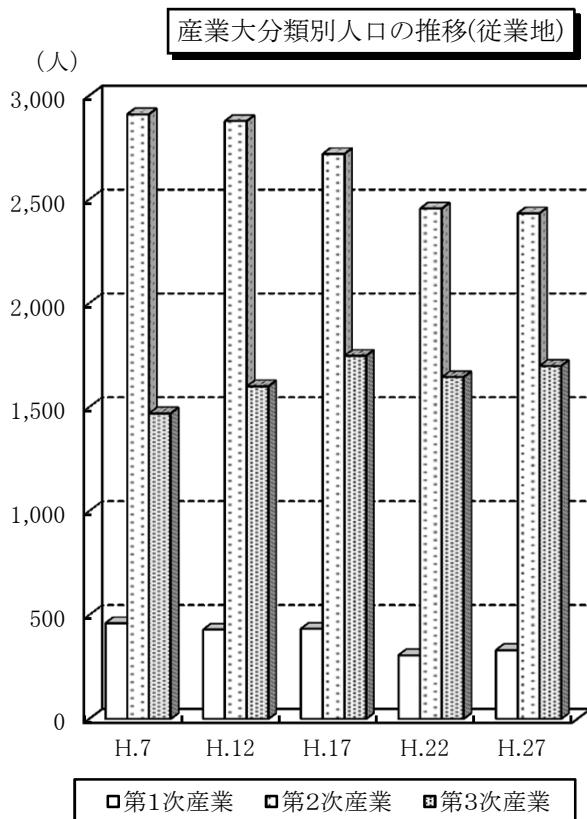
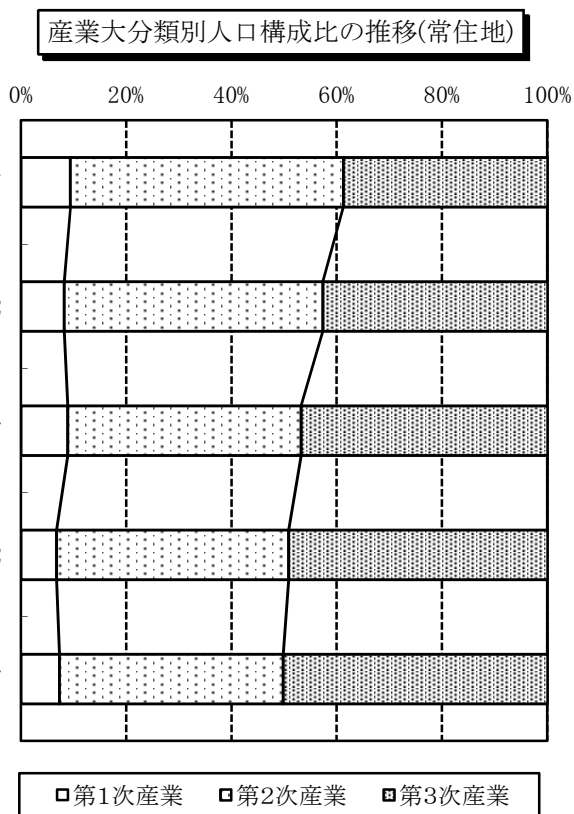
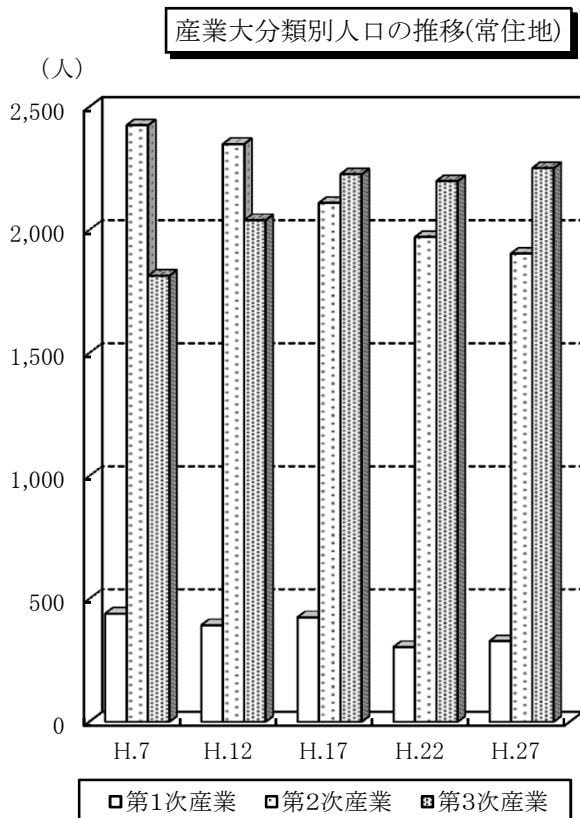


図2-2 平成27年産業大分類別人口構成比(常住地)

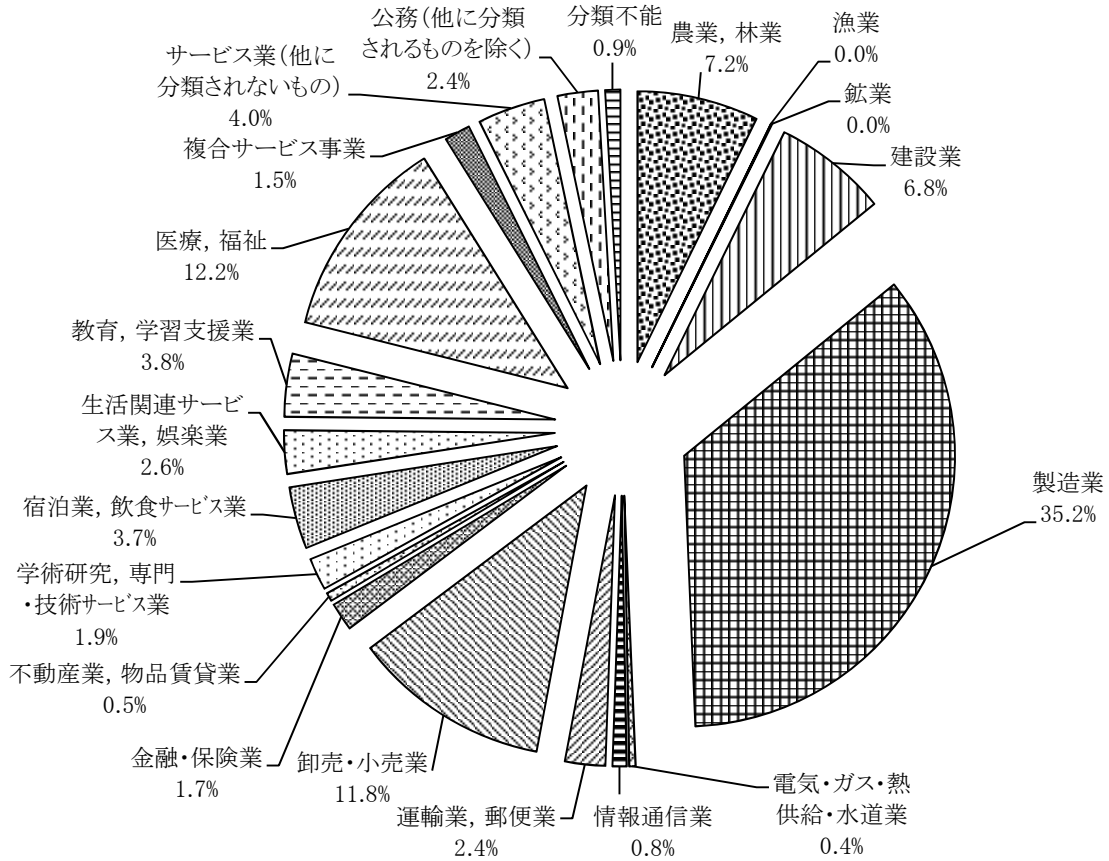
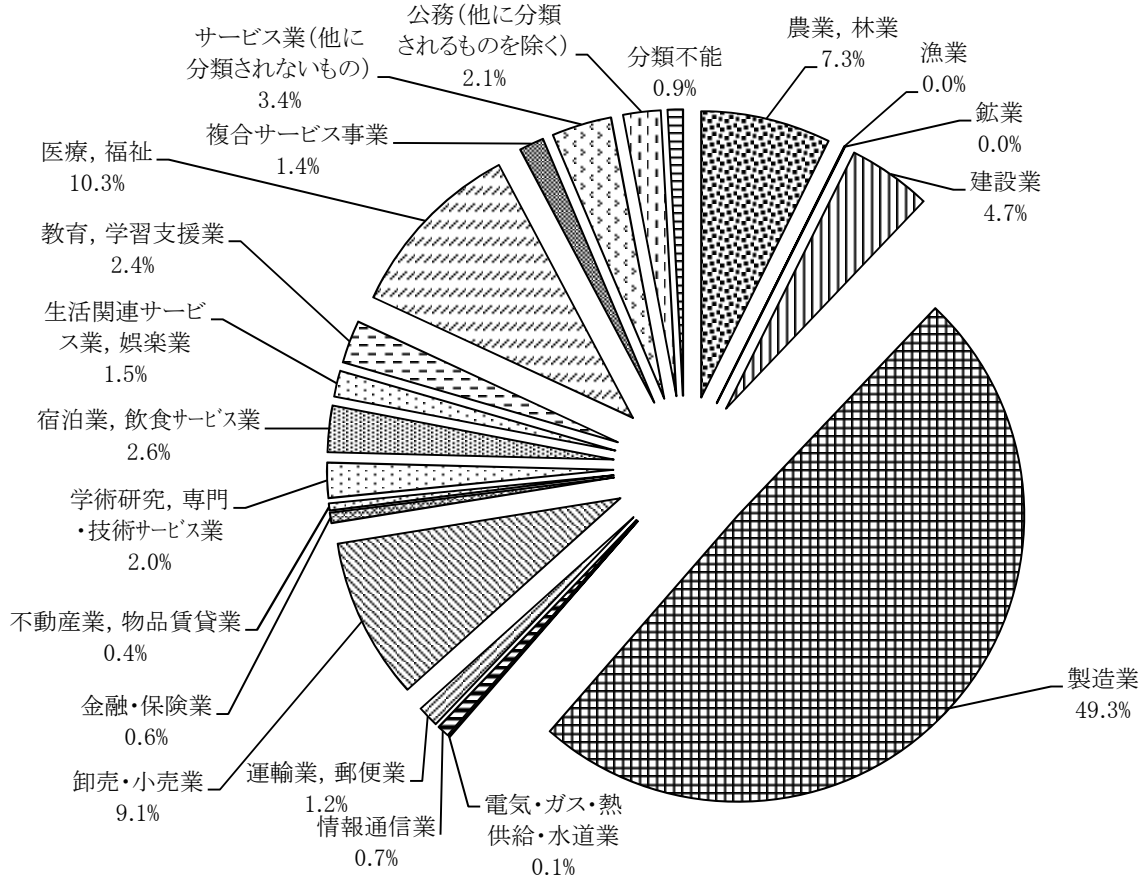


図2-3 平成27年産業大分類別人口構成比(従業地)



■ 産業大分類別人口の推計

最小二乗法による平成27年を基準年とした産業大分類別人口の推計結果は、第1次産業は今後も減少傾向で推移し、平成47年には127人から192人の幅で推計される。第2次産業も減少傾向で推移し、平成47年には871人から1,306人の幅で推計され、それに対し第3次産業については、今後も増加が予測され平成47年には2,405人から2,725人の幅で推計される。

表2-2 産業大分類別人口の推計

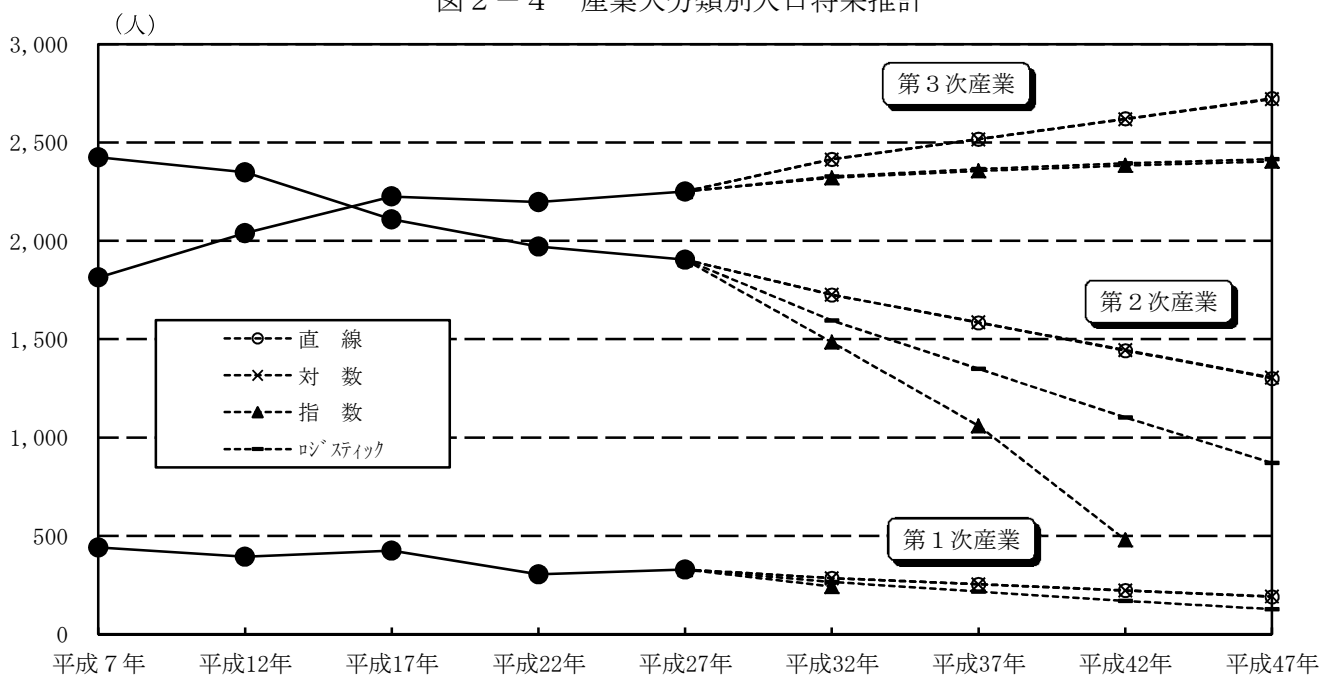
(単位:人)

	推計名	H.7	H.12	H.17	H.22	H.27	H.32	H.37	H.42	H.47	備考
第1次産業	実数値	440	393	425	304	328	/	/	/	/	
	直線	/	/	/	/	/	284	253	222	190	$y = -6.26 * X + 12929.3$ 決定係数 0.6873
	対数	/	/	/	/	/	284	253	222	192	$y = -12550.6276638601 * \log x + 95805.3560412176$ 決定係数 0.6872
	指数	/	/	/	/	/	242	151	25	-	$y = 484 - (1.00413679263654E-54) * 1.06637879158196^X$ 決定係数 0.7021
	ロジスティック	/	/	/	/	/	264	215	168	127	$y = 484 / (1 + (5.30962204365697E-72) * \exp^{-0.0811546847711055 * X})$ 決定係数 0.7014
第2次産業	実数値	2,425	2,349	2,110	1,971	1,904	/	/	/	/	
	直線	/	/	/	/	/	1,726	1,584	1,442	1,300	$y = -28.4 * X + 59093.8$ 決定係数 0.9631
	対数	/	/	/	/	/	1,727	1,586	1,446	1,306	$y = -56947.3512543443 * \log x + 435144.898775525$ 決定係数 0.9633
	指数	/	/	/	/	/	1,485	1,059	480	-	$y = 2667.5 - 1.25345103915346E-51) * 1.06345746858983^X$ 決定係数 0.9383
	ロジスティック	/	/	/	/	/	1,595	1,349	1,102	871	$y = 2667.5 / (1 + (1.93728273431123E-66) * \exp^{-0.0747093200063336 * X})$ 決定係数 0.9464
第3次産業	実数値	1,814	2,040	2,226	2,198	2,251	/	/	/	/	
	直線	/	/	/	/	/	2,415	2,519	2,622	2,725	$y = 20.64 * X - 39277.4$ 決定係数 0.7977
	対数	/	/	/	/	/	2,415	2,517	2,619	2,721	$y = 41410.8302264114 * \log x + 312757.021670449$ 決定係数 0.7988
	指数	/	/	/	/	/	2,321	2,356	2,384	2,405	$y = 2476.1 - 8.78090828847187E+47) * 0.949183924473185^X$ 決定係数 0.8385
	ロジスティック	/	/	/	/	/	2,328	2,366	2,394	2,416	$y = 2476.1 / (1 + (2.7443878356633E+53) * \exp^{-0.062278259804672 * X})$ 決定係数 0.8327

注:・最小二乗法による推計値は、平成7年から平成27年の5年ごと20年間のデータを基に算出。

・備考欄には各々の式を示した。

図2-4 産業大分類別人口将来推計



C0201-2 職業大分類別就業者数

平成27年の常住地における職業大分類別人口の構成比は、生産工程従事者が28.4%と最も高くなっており、次いで専門的・技術的職業従事者15.1%、事務従事者が14.7%、サービス職業従事者10.4%の順となっている。

平成27年の従業地における職業大分類別人口の構成比は、生産工程従事者が38.9%と最も高くなっており、次いで専門的・技術的職業従事者13.4%、事務従事者が12.5%、サービス職業従事者8.6%の順となっている。

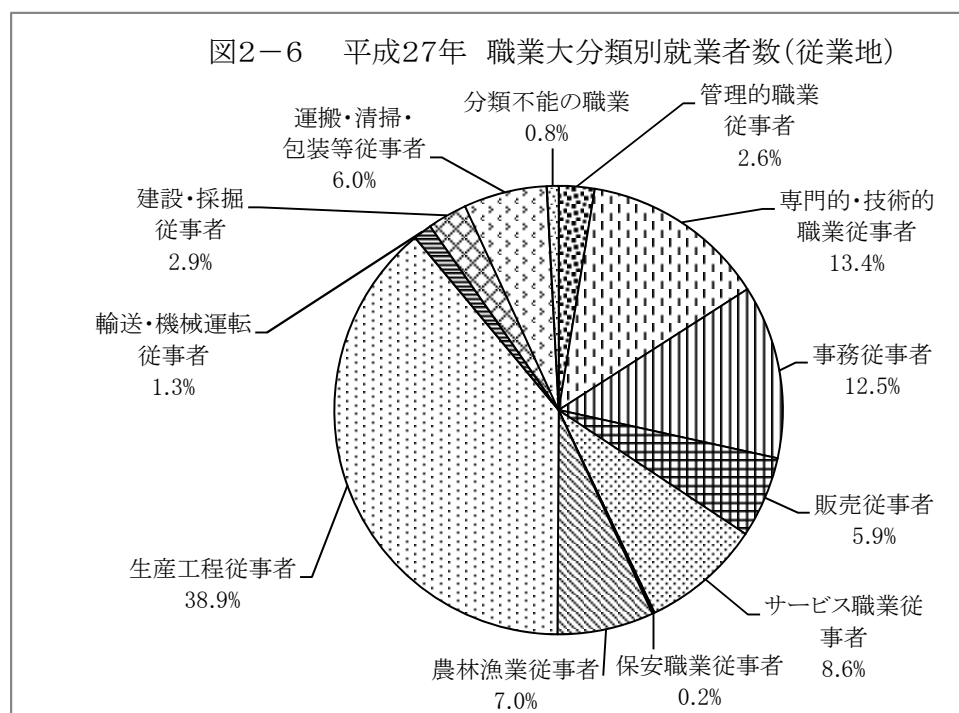
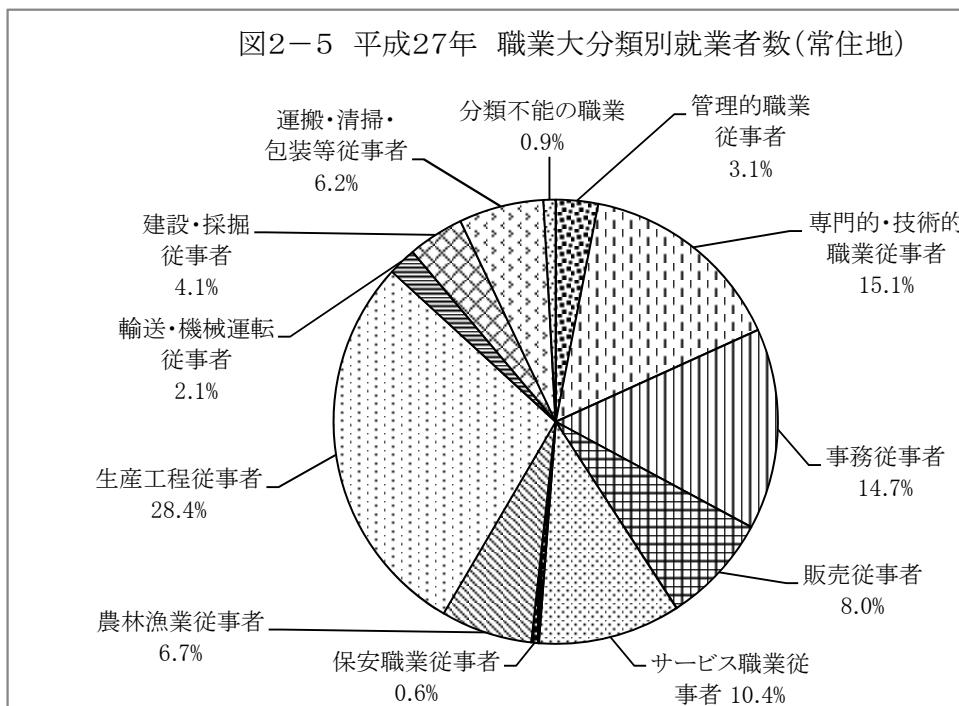


表2-3 職業大分類別常驻地・従業員別就業者数

職業大分類	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			
	常驻地による		従業員による	常驻地による		従業員による	常驻地による		従業員による	常驻地による		従業員による	常驻地による		従業員による	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
専門的・技術的 A. 職業従事者	446	9.5	422	8.7	453	9.2	478	9.7	117	2.6	109	2.4	139	3.1	116	2.6
B. 管理的職業従事者	168	3.6	160	3.3	147	3.0	100	2.0	642	14.0	531	11.8	685	15.1	601	13.4
C. 事務従事者	604	12.9	584	12.1	596	12.1	611	12.4	665	14.6	561	12.5	663	14.7	564	12.5
D. 販売従事者	380	8.1	302	6.2	318	6.5	318	6.5	399	8.7	314	7.0	361	8.0	264	5.9
E. サービス職業 従事者	281	6.0	223	4.6	283	5.8	350	7.1	468	10.2	366	8.1	469	10.4	389	8.6
F. 保安職業従事者	18	0.4	6	0.1	9	0.2	15	0.3	27	0.6	11	0.2	25	0.6	7	0.2
G. 農林漁業従事者	418	8.9	438	9.0	380	7.7	407	8.3	274	6.0	266	5.9	301	6.7	313	7.0
H. 運輸・通信従事者	126	2.7	90	1.9	90	1.8	68	1.4	1,330	29.1	1,807	40.1	1,284	28.4	1,750	38.9
I. 生産工程・ 労務作業者	2,238	47.8	2,615	54.0	2,630	53.6	2,551	52.0	111	2.4	68	1.5	93	2.1	60	1.3
									176	3.9	123	2.7	185	4.1	129	2.9
									266	5.8	251	5.6	279	6.2	270	6.0
J. 分類不能の職業	3	0.1	3	0.1	0	0.0	10	0.2	95	2.1	94	2.1	40	0.9	38	0.8
合計	4,682	100.0	4,843	100.0	4,906	100.0	4,908	100.0	4,570	100.0	4,501	100.0	4,524	100.0	4,501	100.0

注：・構成比は、小数点第1位で四捨五入したため、合計と内容の計が一致しない場合もある。

・平成7年の職業大分類I 生産工程・労務作業者には、採鉱・採石、技能工、採掘作業者を含む。

資料：国勢調査(各年10月1日)

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

平成28年の事業所数は407事業所であり、そのうち製造業は88事業所で全事業所数の21.6%を占め、次いで卸売業・小売業が84事業所で20.6%、建設業が50事業所で12.3%、生活関連サービス業、娯楽業が42事業所で10.3%、宿泊業、飲食サービス業が41事業所で10.1%の順となっている。従業者数は4,143人であり、製造業が最も多く2,256人、次いで卸売業、小売業504人、医療、福祉500人、宿泊業、飲食サービス業209人、建設業181人の順となっている。従業者規模別では従業者数1～4人以下の小規模企業が全体の62.7%（民営）を占めている。

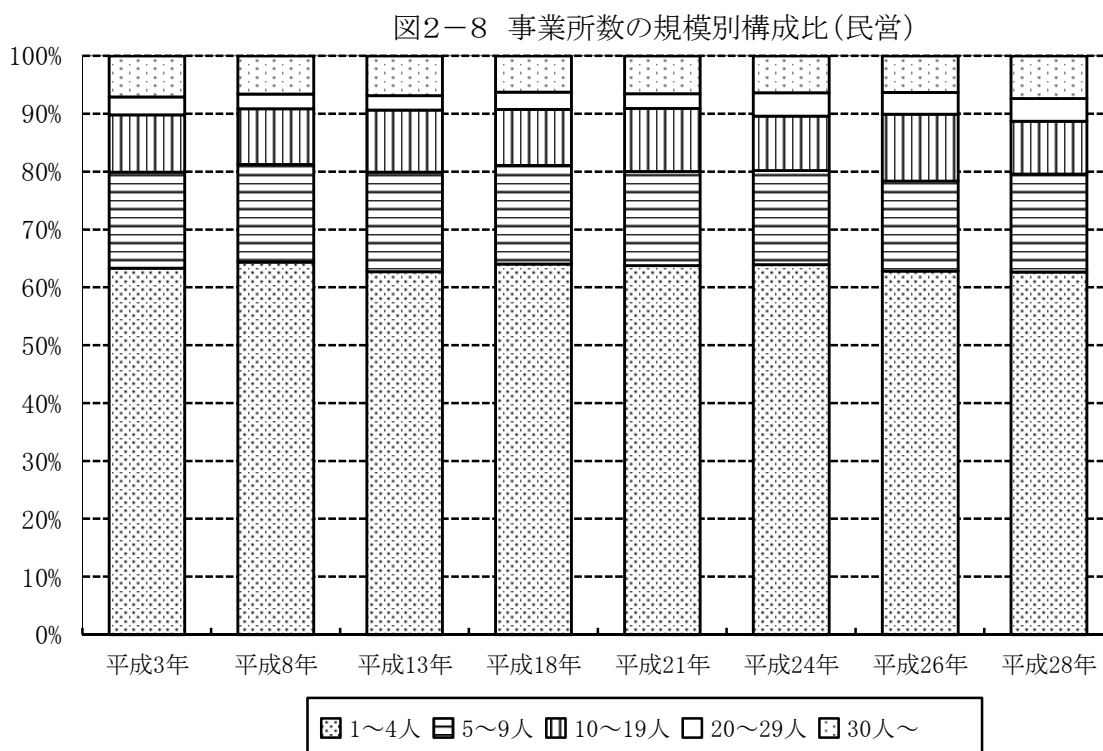
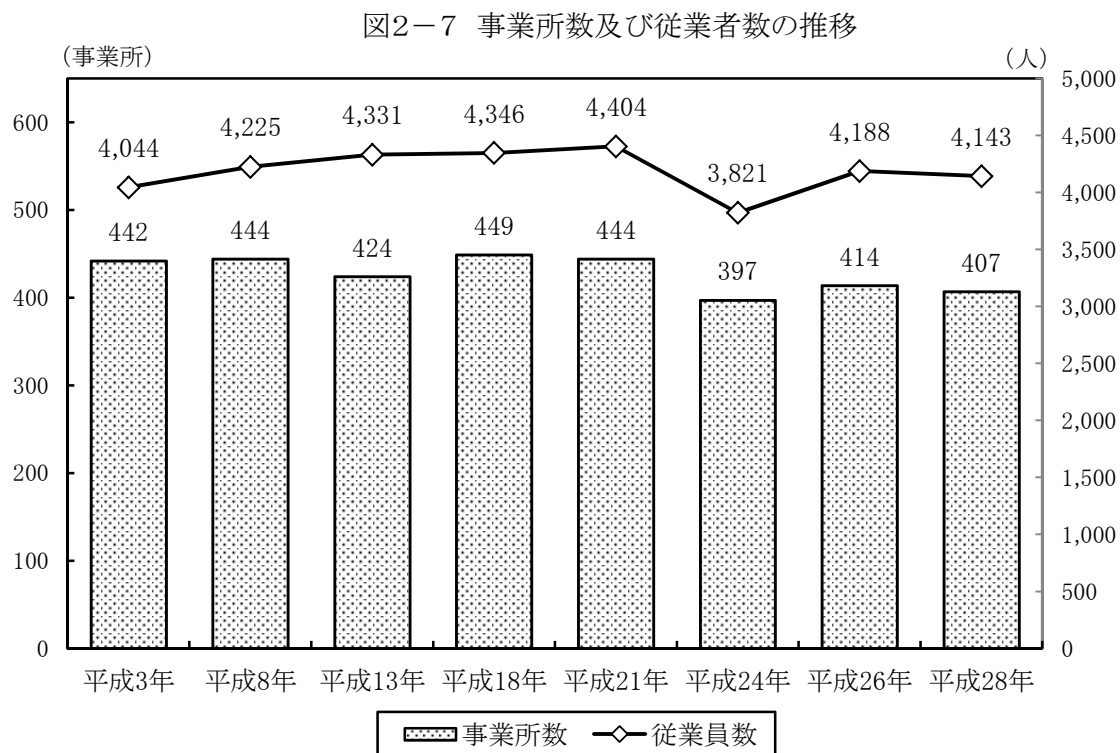


表2-4-1 産業大分類別事業所数・従業者数

産業大分類	平成3年						平成8年						平成13年								
	事業所数		従業者数		国・地方公共団体	従業者規模別事業所数(民営)	事業所数		従業者数		国・地方公共団体	従業者規模別事業所数(民営)	事業所数		従業者数		国・地方公共団体	派遣従業者のみ	従業者数		
	1~4	5~9	10~19	20~29			30~	1~4	5~9	10~19			20~29	30~	1~4	5~9				10~19	20~29
A.B.C.農林漁業	4	1	1	-	-	2	26	6	2	2	-	1	109	5	2	-	1	-	1	97	
D.鉱業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E.建設業	59	41	10	5	1	2	337	58	37	15	4	1	296	51	31	13	6	1	-	268	
F.製造業	130	56	21	23	8	22	2,376	111	48	13	22	6	2,437	96	37	16	18	4	21	2,445	
G.電気・ガス・熱供給・水道業	2	-	-	-	-	2	12	2	-	-	-	-	13	1	-	-	-	-	-	-	8
H.運輸・通信業	5	3	1	-	-	1	37	5	2	1	1	-	46	7	4	-	2	-	-	53	
I.卸売・小売業	140	102	25	7	3	3	638	141	105	26	6	3	597	142	99	26	12	3	2	698	
J.金融・保険業	2	-	-	2	-	-	31	3	1	-	2	-	26	3	-	1	2	-	-	31	
K.不動産業	7	7	-	-	-	-	11	7	6	1	-	-	15	6	6	-	-	-	-	13	
L.サービス業	88	58	12	5	1	3	507	107	74	14	6	1	618	109	77	14	3	2	4	648	
M.公務	5	-	-	-	-	5	69	4	-	-	-	4	68	4	-	-	-	-	-	70	
N.分類不能の産業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	442	268	70	42	13	30	4,044	444	275	72	41	11	4,225	424	256	70	44	10	28	4,331	

注1:平成8年までは、事業所数に派遣・下請従業者のみも含む。

資料:事業所・企業統計調査(各年10月1日)

表2-4-2 産業大分類別事業所数・従業者数

産業大分類	平成18年										平成21年									
	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)					国・地方 公共 団体	従業者 数	派遣従業者のみ	従業者規模別事業所数(民営)					国・地方 公共 団体	従業者 数	派遣従業者のみ			
		1～4	5～9	10～19	20～29	30～				1～4	5～9	10～19	20～29	30～						
A～B農林水産業	4	3	-	-	1	-	79	-	1	-	-	4	2	1	-	1	-	-	93	
C. 鉱業，砂採，石採	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D. 建設業	66	46	15	4	1	-	260	-	-	-	-	64	48	11	4	1	-	-	247	
E. 製造業	100	38	20	15	10	17	2,382	-	-	-	-	102	41	19	17	4	21	-	2,453	
F. 電気・ガス・熱供給，水道業	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	6	
G. 情報通信業	5	4	1	-	-	-	14	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	5	
H. 運輸業，郵便業	6	4	2	-	-	-	19	-	-	-	-	8	3	2	2	1	-	-	72	
I. 卸売業，小売業	90	65	12	9	1	3	480	-	-	-	-	91	62	14	11	2	2	-	494	
J. 金融業，保険業	4	2	-	2	-	-	25	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	-	26	
K. 不動産業，物品賃貸業	8	6	2	-	-	-	24	-	-	-	-	7	7	-	-	-	-	-	16	
L. 学術研究，専門・技術サービス業	25	21	-	3	-	1	161	-	-	-	-	21	18	2	1	-	-	-	65	
M. 宿泊業，飲食サービス業	42	26	11	4	-	1	242	-	-	-	-	41	24	12	4	-	1	-	232	
N. 生活関連サービス業，娯楽業	36	29	5	1	-	-	96	-	-	-	1	34	31	3	-	-	-	-	72	
O. 教育，学習支援業	11	7	-	-	-	-	95	-	-	-	4	11	6	1	-	-	-	-	89	
P. 医療，福祉	24	14	2	1	-	3	266	-	-	-	4	25	14	2	2	-	3	-	297	
Q. 複合サービス事業	4	2	-	-	1	1	54	-	-	-	-	4	2	-	1	1	-	-	48	
R. (他に分類されないもの)	19	11	4	3	-	-	89	-	-	-	1	22	14	3	3	2	-	-	132	
S. (他に分類されるものを除く)	4	-	-	-	-	-	53	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	57	
合計	449	278	74	42	13	27	4,346	-	-	-	15	444	275	70	47	11	28	-	4,404	

資料：平成18年は事業所・企業統計調査(10月1日)
平成21年は経済センサス-基礎調査(7月1日)

表2-4-3 産業大分類別事業所数・従業者数・売上金額

産業大分類	平成24年						平成26年						平成28年												
	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額	事業所数	従業者規模別事業所数(民営)			国・地方公共団体	従業者数	売上金額				
		1～4	5～9	10～19					20～29	30～	派遣従業者のみ					1～4	5～9	10～19				20～29	30～	派遣従業者のみ	1～4
A～B農林水産業	4	2	1	-	-	88	606	4	1	2	-	-	1	-	90	614	4	1	2	-	-	1	-	72	719
C. 鉱業，採石業，砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	54	41	7	3	2	209	...	49	41	4	3	1	-	171	2,473	50	38	9	2	1	-	-	181	...	
E. 製造業	91	37	14	16	8	2,153	39,121	85	30	17	12	9	17	2,121	42,495	88	32	16	14	9	17	-	2,256	62,749	
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	...	1	-	-	-	-	-	1	6	...	-	-	-	-	-	-	-	-	...
G. 情報通信業	2	1	1	-	-	10	...	1	-	1	-	-	-	8	...	1	-	-	1	-	-	-	11	...	
H. 運輸業，郵便業	7	2	2	2	1	65	...	7	3	2	1	1	-	51	1,148	6	2	2	1	1	-	-	50	...	
I. 卸売業，小売業	83	53	18	6	2	436	13,258	84	54	12	14	1	2	498	12,060	84	56	13	10	2	3	-	504	15,482	
J. 金融業，保険業	3	1	-	2	-	27	...	4	2	-	2	-	-	27	467	4	2	-	2	-	-	-	26	...	
K. 不動産業，物品賃貸業	7	6	1	-	-	18	167	7	7	-	-	-	-	13	187	9	8	-	1	-	-	-	28	139	
L. 学術研究，専門・技術サービス業	19	18	-	1	-	43	374	17	14	2	1	-	-	49	149	20	18	1	-	1	-	-	63	339	
M. 宿泊業，飲食サービス業	42	29	8	3	2	233	789	40	25	10	4	1	-	209	899	41	25	12	3	1	-	-	209	715	
N. 生活関連サービス業，娯楽業	37	33	4	-	-	82	195	41	39	1	-	-	-	79	182	42	40	2	-	-	-	-	80	204	
O. 教育，学習支援業	5	5	-	-	-	13	...	10	5	1	-	-	-	4	29	8	8	-	-	-	-	-	13	...	
P. 医療，福祉	19	12	2	-	2	266	1,283	35	16	4	5	1	4	537	1,961	29	15	6	-	-	8	-	500	2,689	
Q. 複合サービス事業	4	2	-	1	-	53	...	4	2	-	1	-	1	45	...	2	-	1	-	-	1	-	41	...	
R. サービス業（他に分類されないもの）	20	10	6	3	1	125	...	21	11	6	3	1	-	126	753	19	10	5	3	1	-	-	109	...	
S. 公務（他に分類されるものを除く）	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	397	252	64	37	16	3,821	55,793	414	250	62	46	15	25	15,418	64,254	407	255	69	37	16	30	-	4,143	83,036	

注）事業所に関する集計における売上（収入）金額は、事業所単位の把握ができない一部の産業（※）については「…」で表しています。
 ※「建設業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「通信業」、「放送業」、「映像・音声・文字情報制作業」、「運輸業、郵便業」、「金融業、保険業」、「学校教育」、「郵便局」、「政治・経済・文化団体」及び「宗教」
 ・※は秘密保持のための伏せ字

資料：平成24年は経済センサス-活動調査（7月1日）
 平成26年は経済センサス-基礎調査（7月1日）
 平成28年は経済センサス-活動調査（6月1日）

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

工業出荷額(実質)の推移を見ると、平成15年までは概ね400億円から500億円の範囲で減少・増加を繰り返し、平成18年まで増加したが、以降平成24年まで減少している。平成25年以降は増加に転じ平成28年の工業出荷額は521億円となっている。

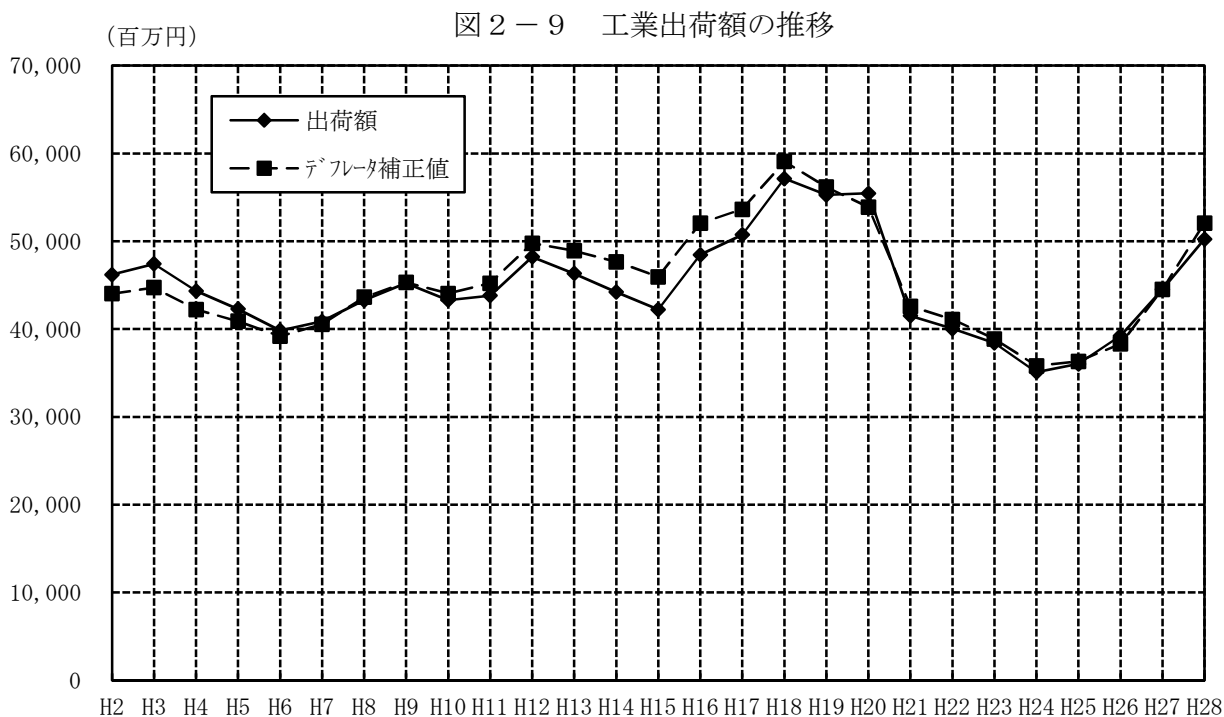


表2-5 工業出荷額の推移

(単位:百万円)

	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年
出荷額	46,193	47,414	44,340	42,279	39,848	40,884	43,277
デフレータ補正值	44,035	44,730	42,229	40,889	39,182	40,560	43,626
	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
出荷額	45,226	43,309	43,819	48,229	46,332	44,220	42,231
デフレータ補正值	45,317	44,058	45,221	49,772	48,925	47,651	45,953
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出荷額	48,458	50,732	57,128	55,276	55,462	41,526	40,038
デフレータ補正值	52,049	53,628	59,078	56,175	53,899	42,591	41,107
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
出荷額	38,413	35,093	36,031	39,232	44,523	50,241	
デフレータ補正值	38,880	35,809	36,322	38,313	44,523	52,063	

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値。

・平成14年以降は従業者4人以上の事業所

資料:工業統計調査、経済センサス-活動調査(各年12月31日)

表2-6-1 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成2年		平成3年		平成4年		平成5年		平成6年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	46,193	44,035	47,414	44,730	44,340	42,229	42,279	40,889	39,848	39,182
12. 食料品(製造業)	67	64	74	70	×	×	853	825	867	853
13. 飲料・飼料・たばこ製造業	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14. 繊維(工業)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15. 衣料その他の繊維製品	1,237	1,179	1,142	1,077	1,016	968	1,031	997	638	627
16. 木材・木製品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17. 家具・装備品	253	241	271	256	251	239	230	222	1,064	1,046
18. パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	×	×	×	×	×	×
19. 出版・印刷・同関連	×	×	64	60	×	×	68	66	57	56
20. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22. プラスチック	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×
23. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	2,592	2,471	2,798	2,640	2,368	2,255	2,589	2,504	2,605	2,561
26. 鉄鋼	×	×	×	×	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 金属製品	22,414	21,367	22,576	21,298	21,385	20,367	20,009	19,351	19,285	18,963
29. 一般機械器具	4,009	3,822	4,125	3,892	2,390	2,276	2,169	2,098	×	×
30. 電気機械器具	2,558	2,439	2,996	2,826	2,633	2,508	2,183	2,111	2,905	2,856
31. 輸送用機械器具	2,625	2,502	3,022	2,851	3,344	3,185	3,193	3,088	2,891	2,843
32. 精密機械器具	5,344	5,094	5,869	5,537	4,826	4,596	4,370	4,226	4,173	4,103
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他	4,476	4,267	3,865	3,646	4,229	4,028	4,287	4,146	3,468	3,410

注：・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値
・出荷額は100万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。
・×は秘密保持のための伏せ字

資料：工業統計調査(各年12月31日)

表2-6-2 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成7年		平成8年		平成9年		平成10年		平成11年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	40,884	40,560	43,277	43,626	45,226	45,317	43,309	44,058	43,819	45,221
12. 食料品(製造業)	1,486	1,474	×	×	×	×	×	×	×	×
13. 飲料・飼料・たばこ製造業	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14. 繊維(工業)	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-
15. 衣料その他の繊維製品	1,149	1,140	1,177	1,186	971	973	1,073	1,092	1,008	1,040
16. 木材・木製品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
17. 家具・装備品	1,046	1,038	976	984	1,013	1,015	890	905	216	223
18. パルプ・紙・紙加工品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
19. 出版・印刷・同関連	55	55	61	61	59	59	40	41	×	×
20. 化学	-	-	×	×	-	-	-	-	-	-
21. 石油製品・石炭製品	-	-	×	×	×	×	×	×	-	-
22. プラスチック	×	×	406	409	×	×	×	×	×	×
23. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	2,512	2,492	2,841	2,864	3,290	3,297	2,698	2,745	3,049	3,147
26. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 金属製品	20,269	20,108	21,227	21,398	23,580	23,627	17,497	17,800	18,041	18,618
29. 一般機械器具	707	701	839	846	1,393	1,396	1,203	1,224	912	941
30. 電気機械器具	3,554	3,526	3,435	3,463	3,414	3,421	7,297	7,423	×	×
31. 輸送用機械器具	2,367	2,348	2,558	2,579	2,740	2,745	3,250	3,306	3,648	3,765
32. 精密機械器具	3,868	3,837	4,429	4,465	4,455	4,464	4,763	4,845	5,028	5,189
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他	2,201	2,184	1,737	1,751	×	×	1,238	1,259	1,295	1,336

注：・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値
・出荷額は100万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。
・×は秘密保持のための伏せ字

資料：工業統計調査(各年12月31日)

表2-6-3 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	48,229	49,772	46,332	48,925	44,220	47,651	42,231	45,953	48,458	52,049
09.食料品(製造業)	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
10.飲料・飼料・たばこ製造業	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
11.繊維(工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12.衣料その他の繊維製品	660	681	504	532	568	612	605	658	856	919
13.木材・木製品	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
14.家具・装備品	172	178	χ	χ	χ	χ	179	195	χ	χ
15.パルプ・紙・紙加工品	χ	χ	-	-	-	-	χ	χ	χ	χ
16.出版・印刷・同関連	χ	χ	-	-	-	-	-	-	-	-
17.化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18.石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19.プラスチック	χ	χ	χ	-	χ	-	-	-	χ	-
20.ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21.なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22.窯業・土石製品	3,220	3,323	2,774	2,929	2,188	2,358	1,734	1,887	1,545	1,660
23.鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24.非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25.金属製品	18,873	19,477	18,697	19,743	17,320	18,664	16,484	17,937	17,238	18,516
26.一般機械器具	1,324	1,366	2,495	2,635	χ	χ	χ	χ	χ	χ
27.電気機械器具	χ	χ	8,200	8,659	828	892	798	868	2,806	3,014
28.情報通信機械器具	/	/	/	/	χ	χ	χ	χ	χ	χ
29.電子部品デバイス製造業	/	/	/	/	2,159	2,327	2,339	2,545	1,722	1,850
30.輸送用機械器具	4,490	4,634	4,286	4,526	4,391	4,732	3,616	3,935	3,288	3,532
31.精密機械器具	5,221	5,388	5,672	5,989	5,143	5,542	4,274	4,651	14,343	15,406
32.その他	1,141	1,178	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値
・出荷額は100万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。
・χは秘密保持のための伏せ字
・平成14年以降は従業者4人以上の事業所
・平成12年・13年の/は、用いていない産業中分類

資料:工業統計調査(各年12月31日)

表2-6-4 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成 17 年		平成 18 年		平成 19 年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	50,732	53,628	57,128	59,078	55,276	56,175
09.食料品(製造業)	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
10.飲料・飼料・たばこ製造業	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
11.繊維(工業)	-	-	-	-	-	-
12.衣料その他の繊維製品	916	968	769	795	887	901
13.木材・木製品	-	-	-	-	-	-
14.家具・装備品	221	234	ㄨ	ㄨ	271	275
15.パルプ・紙・紙加工品	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-	-
16.出版・印刷・同関連	-	-	-	-	-	-
17.化学	-	-	-	-	-	-
18.石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-
19.プラスチック	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
20.ゴム製品	-	-	-	-	-	-
21.なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-
22.窯業・土石製品	1,506	1,592	1,299	1,343	1,294	1,315
23.鉄鋼	-	-	-	-	-	-
24.非鉄金属	-	-	-	-	-	-
25.金属製品	17,986	19,013	19,691	20,363	20,150	20,478
26.一般機械器具	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
27.電気機械器具	2,358	2,493	3,068	3,173	ㄨ	ㄨ
28.情報通信機械器具	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
29.電子部品デバイス製造業	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	704	715
30.輸送用機械器具	3,888	4,110	4,246	4,391	ㄨ	ㄨ
31.精密機械器具	17,433	18,428	21,136	21,857	18,219	18,515
32.その他	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値

・出荷額は100万円単位で四捨五入しているため合計、小計とは一致しないことがある。

・ㄨは秘密保持のための伏せ字

・従業者4人以上の事業所

工業統計調査(各年12月31日)

表2-6-5 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成20年		平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值
合計	55,462	53,899	41,526	42,591	40,038	41,107	38,413	38,880	35,093	35,809
09. 食料品	×	×	×	×	×	×	1,194	1,209	×	×
10. 飲料・たばこ・飼料	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11. 繊維	985	957	1,007	1,033	980	1,006	1,340	1,356	1,260	1,286
12. 木材・木製品 (家具を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 家具・装備品	152	148	149	153	127	130	168	170	191	195
14. パルプ・紙 ・紙加工品	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
15. 印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 石油製品 ・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18. プラスチック製品 (別掲を除く)	1,374	1,335	874	896	×	×	×	×	×	×
19. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20. なめし革・同 製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 窯業・土石製品	1,206	1,172	1,161	1,191	1,183	1,215	×	×	×	×
22. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 金属製品	20,687	20,104	14,659	15,035	17,520	17,988	18,896	19,126	15,914	16,239
25. はん用機械器具	4,096	3,981	3,031	3,109	×	×	×	×	×	×
26. 生産用機械器具	×	×	×	×	×	×	1,129	1,143	800	816
27. 業務用機械器具	17,946	17,440	14,152	14,515	9,896	10,160	7,357	7,446	7,720	7,878
28. 電子部品・デバイス ・電子回路	413	401	252	258	282	290	1,744	1,765	1,971	2,011
29. 電気機械器具	3,410	3,314	2,128	2,183	3,669	3,767	898	909	×	×
30. 情報通信機械器具	×	×	-	-	-	-	-	-	×	×
31. 輸送用機械器具	1,612	1,567	1,084	1,112	2,345	2,408	2,225	2,252	2,521	2,572
32. その他	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値

・×は秘密保持のための伏せ字

・従業者4人以上の事業所

資料:工業統計調査(各年12月31日)

表2-6-6 産業中分類別工業出荷額

(単位:百万円)

産業中分類	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年			
	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值	出荷額	デフレータ補正值		
合計	36,031	36,322	39,232	38,313	44,523	44,523	50,241	52,063		
09. 食料品	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ		
10. 飲料・たばこ・飼料	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ		
11. 繊維	χ	χ	χ	χ	χ	χ	1,057	1,095		
12. 木材・木製品 (家具を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-		
13. 家具・装備品	169	170	180	176	χ	χ	χ	χ		
14. パルプ・紙 ・紙加工品	χ	χ	χ	χ	-	-	χ	χ		
15. 印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-		
16. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-		
17. 石油製品 ・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-		
18. プラスチック製品 (別掲を除く)	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ		
19. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-		
20. なめし革・同 製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-		
21. 窯業・土石製品	936	944	1,063	1,038	χ	χ	946	980		
22. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-		
23. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-		
24. 金属製品	19,642	19,800	17,270	16,865	21,600	21,600	24,167	25,044		
25. はん用機械器具	2,421	2,441	2,623	2,562	χ	χ	χ	χ		
26. 生産用機械器具	χ	χ	χ	χ	1,625	1,625	χ	χ		
27. 業務用機械器具	3,841	3,872	6,979	6,815	5,946	5,946	10,737	11,126		
28. 電子部品・デバイス ・電子回路	2,087	2,104	χ	χ	4,049	4,049	2,470	2,560		
29. 電気機械器具	942	950	1,367	1,335	χ	χ	χ	χ		
30. 情報通信機械器具	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ		
31. 輸送用機械器具	2,412	2,431	2,782	2,717	3,154	3,154	3,376	3,498		
32. その他	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ		

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした国内卸売物価指数で補正した数値

・χは秘密保持のための伏せ字

工業統計調査、平成27年は経済センサス-活動調査(各年12月31日)

・従業者4人以上の事業所

■ 工業出荷額の推計(実質出荷額)

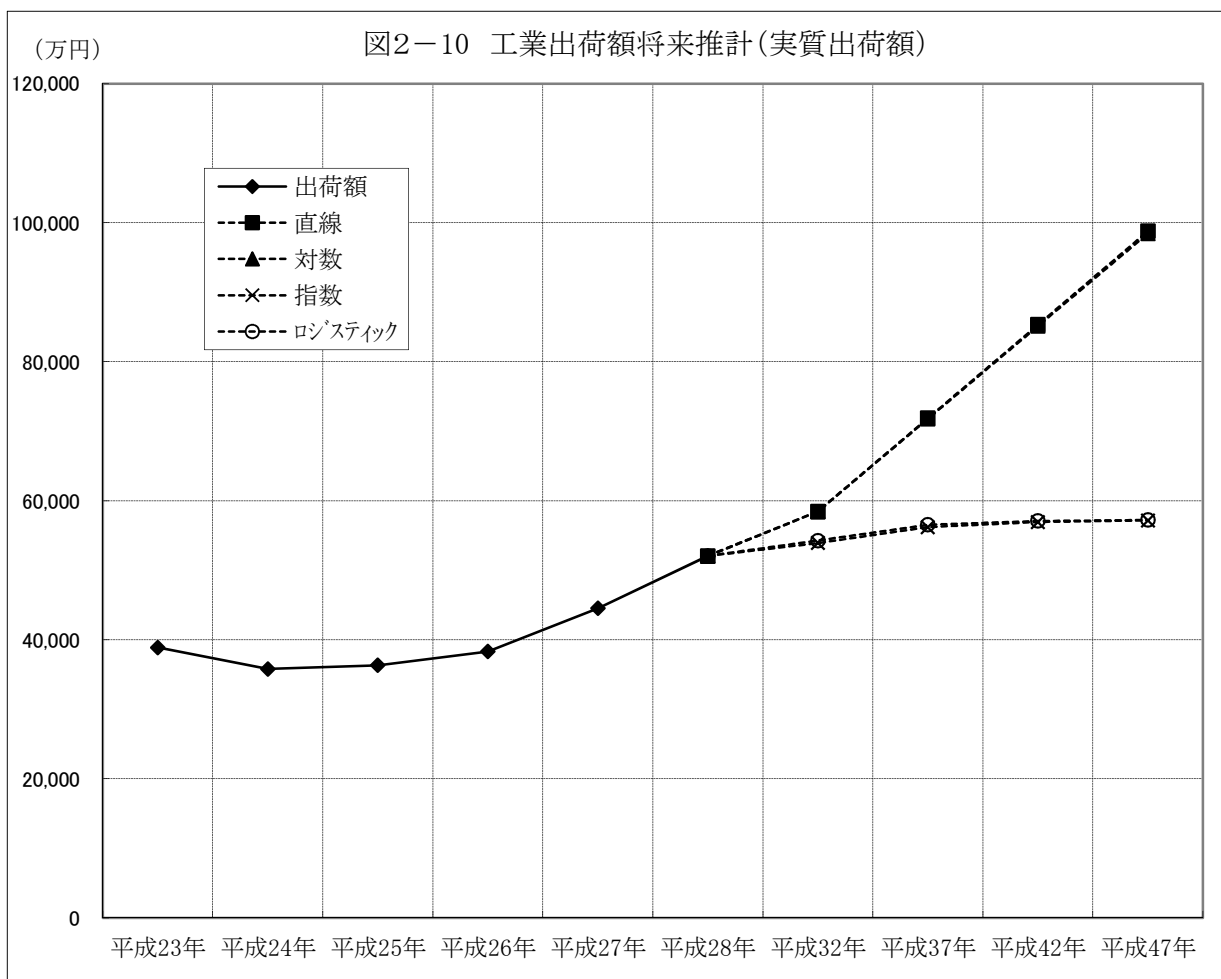
平成23年から平成28年までの工業出荷額を基に行った推計結果は、平成28年の工業出荷額 521億円が平成47年には572億円から988億円の幅で推計され、そのうち決定係数の一番高い回帰式によると988億円と推測される。

表2-7 工業出荷額将来推計

(単位:百万円)

推計方法	平成28年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
直線: $y=ax+b$	(実績値) 52,063	58,451	71,887	85,323	98,759
対数: $y=a\log x+b$		58,421	71,793	85,132	98,439
指数: $y=K-ab^x$		53,908	56,193	56,925	57,159
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		54,267	56,535	57,095	57,228
推 計 式					
直線	$y=2687.16186559316x+-5369615.57914762$				決定係数=0.64684
対数	$y=5409152.76743598\log x+-41109844.8967359$				決定係数=0.64650
指数	$y=57269.5336787565-2.2591862715809E+203*0.796297805133269^x$				決定係数=0.61308
ロジスティック	$y=57269.5336787565/(1+7.5732800936703E+252\exp^{-0.289688302423242x})$				決定係数=0.62489

注:平成23年～平成28年のデフレータ補正值データにより推計



C0202-3 産業中分類別商業販売額

平成28年の商業販売額(実質)は131億円で、そのうち卸売業が62.8%、小売業が37.2%の構成比となっている。商業販売額(実質)の推移を見ると、平成6年以降減少傾向にあったが、平成16年から平成19年にかけて一時増加したものの再び減少に転じたが、近年、平成26年から平成28年にかけては、卸売業の増加により21億円の増加となっている。

図2-11 商業販売額の推移

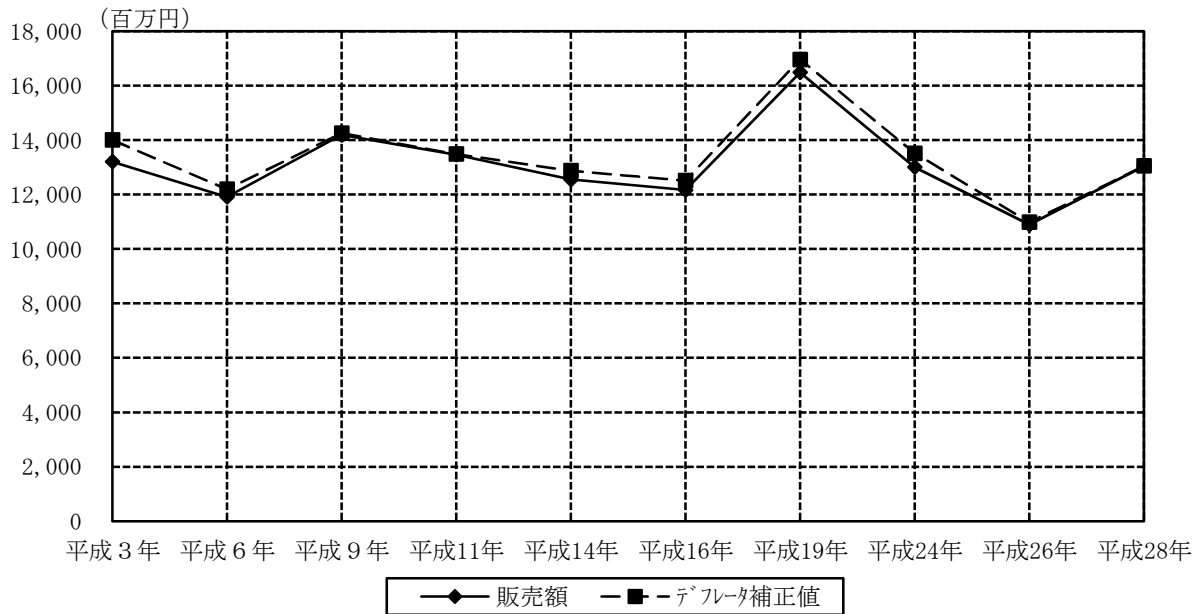


図2-12 業種別販売額の推移(デフレータ補正值)

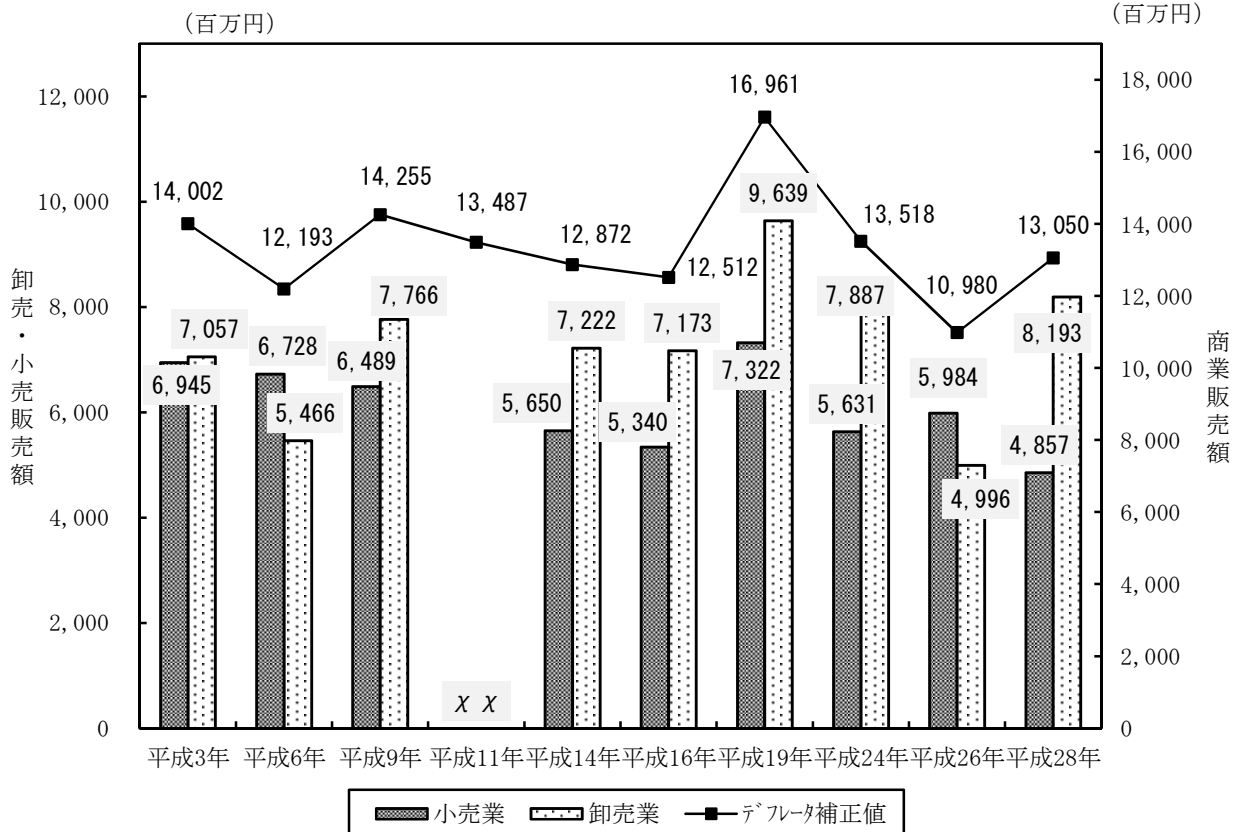


表2-8-1 産業中分類別商業販売額

(単位:百万円)

産業中分類		平成3年		平成6年		平成9年		平成11年		平成14年		
		販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	
合 計		13,204	14,002	11,913	12,193	14,184	14,255	13,460	13,487	12,550	12,872	
卸 売 業 計		6,655	7,057	5,340	5,466	7,727	7,766	χ	χ	7,041	7,222	
49	各種商品卸売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50	織物・衣服等卸売業	6,655	7,057	-	-	-	-	-	-	χ	χ	
51	飲食料品卸売業			χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
52	建築材料、鉱物金属卸売業			704	721	χ	χ	1,337	1,340	1,514	1,553	
53	機械器具卸売業			4,118	4,215	6,048	6,078	5,685	5,696	5,119	5,250	
54	その他卸売業	-	-	χ	χ	χ	χ	χ	χ	354	363	
小 売 業 計		6,549	6,945	6,573	6,728	6,457	6,489	χ	χ	5,509	5,650	
55	各種商品小売業	-	-	-	-	χ	χ	χ	χ	-	-	
56	織物・衣服・身の回り品小売り業	218	231	302	309	297	298	232	232	202	207	
57	飲食料品小売業	3,296	3,495	3,265	3,342	2,975	2,990	2,911	2,917	2,507	2,571	
58	自動車小売業	836	887	873	894	χ	χ	630	631	528	542	
59	家具・建具等小売業	672	713	584	598	703	707	509	510	659	676	
60	その他の小売業	1,527	1,619	1,549	1,585	1,896	1,906	χ	χ	1,613	1,654	

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値

資料:商業統計調査(各年6月1日)

・χは秘密保持のための伏せ字

表2-8-2 産業中分類別商業販売額

(単位:百万円)

産業中分類		平成16年		平成19年		産業中分類		平成24年		平成26年		平成28年	
		販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值			販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計		12,162	12,512	16,486	16,961	合計		13,004	13,518	10,892	10,980	13,037	13,050
卸売業計		6,972	7,173	9,369	9,639	卸売業計		7,587	7,887	4,956	4,996	8,185	8,193
49	各種商品卸売業	-	-	-	-	50	各種商品卸売業	-	-	/	/	-	-
50	織物・衣服等卸売業	-	-	-	-	51	繊維・衣服等卸売業	-	-	/	/	-	-
51	飲食料品卸売業	×	×	×	×	52	飲食料品卸売業	×	×	/	/	×	×
52	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	4,545	4,676	6,626	6,817	53	建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	4,936	5,078	/	/	5,443	5,448
53	機械器具卸売業	556	572	2,314	2,381	54	機械器具卸売業	×	×	/	/	×	×
54	その他の卸売業	×	×	×	×	55	その他の卸売業	617	635	/	/	×	×
小売業計		5,190	5,340	7,117	7,322	小売業計		5,417	5,631	5,936	5,984	4,852	4,857
55	各種商品小売業	-	-	-	-	56	各種商品小売業	-	-	-	-	-	-
56	織物・衣服・身の回り品小売り業	180	185	140	144	57	繊維・衣服・身の回り品小売り業	37	38	33	33	22	22
57	飲食料品小売業	2,616	2,691	2,497	2,569	58	飲食料品小売業	1,121	1,165	1,170	1,179	1,076	1,077
58	自動車小売業	693	713	885	910	59	機械器具小売業	695	722	1,017	1,025	1,169	1,170
59	家具・建具・じゅう器等小売業	234	241	359	369	60	その他の小売業	3,362	3,495	2,382	2,401	2,453	2,455
60	その他の小売業	1,467	1,509	3,236	3,329	61	無店舗小売業	202	210	1,334	1,345	132	132

注:・デフレータ補正值は、平成27年を100とした全国(総合)消費者物価指数で補正した数値

資料:商業統計調査(各年6月1日、平成26年は7月1日)
平成24年は経済センサス-活動調査(平成24年2月)

平成28年経済センサス-活動調査(平成28年6月1日)

・×は秘密保持のための伏せ字
・平成26年の産業中分類(卸売業50～55)の数値は、公表されていない。

■ 商業販売額の推計(実質販売額)

平成14年から平成28年までの商業販売額を基に行った推計結果は、卸売業においては平成28年の商業販売額82億円が平成47年には 63億円から74億円の幅で推計され、そのうち決定係数の最も高い回帰式によると 63億円と推測される。

小売業は、平成28年の商業販売額 49億円が平成47年には 46億円から65億円の幅で推計され、そのうち決定係数の最も高い回帰式によると 49億円と推測される。

表2-9 商業販売額将来推計(合計)

(単位:百万円)

推 計 方 法	平成 28 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	12,411	11,987	11,562	11,138
対数: $y=a\log x+b$	13,050	13,210	13,058	12,906	12,754
指数: $y=K-ab^x$		12,926	12,422	11,871	12,038
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		12,668	12,164	11,641	11,102

表2-10 商業販売額将来推計(卸売業)

(単位:百万円)

推 計 方 法	平成 28 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	7,010	6,768	6,527	6,286
対数: $y=a\log x+b$	8,193	7,011	6,772	6,533	6,295
指数: $y=K-ab^x$		7,429	7,191	6,936	7,429
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		7,214	6,947	6,670	6,385

推 計 方 法	推 計 式	
直 線	$y=-48.2715247479116x+104518.135004511$	決定係数=0.0323
対 数	$y=-96844.7709115587\log x+744082.7901198$	決定係数=0.0323
指 数	$y=10602.7777777778-6.8730423246567E-10*1.01454087563274^x$	決定係数=0.0197
ロジスティック	$y=10602.7777777778/(1+5.40107842050991E-21\exp^{-0.0227288077515982x})$	決定係数=0.0268

表2-11 商業販売額将来推計(小売業)

(単位:百万円)

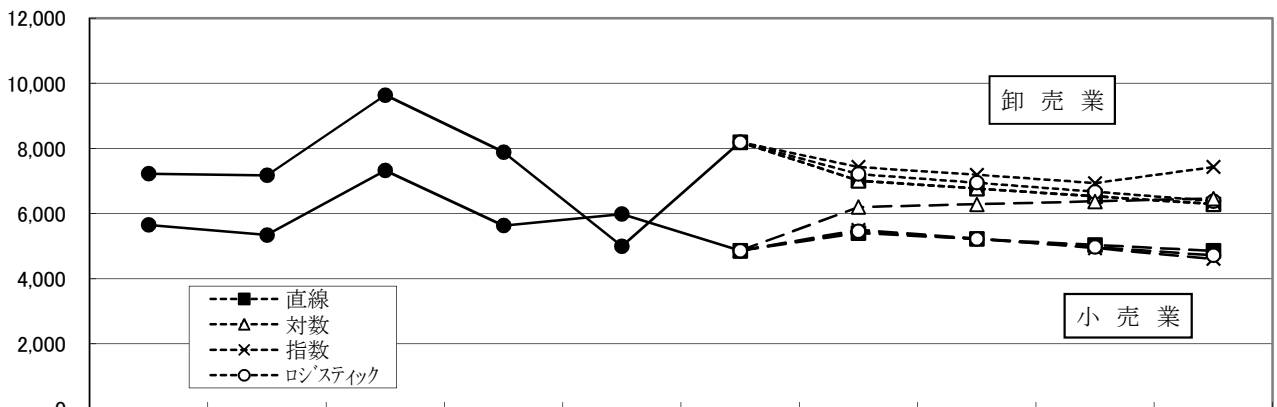
推 計 方 法	平成 28 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年
直線: $y=ax+b$	(実績値)	5,401	5,218	5,036	4,853
対数: $y=a\log x+b$	4,857	6,199	6,286	6,373	6,459
指数: $y=K-ab^x$		5,498	5,231	4,936	4,610
ロジスティック: $y=k/(1+a\exp^{-bx})$		5,454	5,217	4,971	4,717

推 計 方 法	推 計 式	
直 線	$y=-36.5615860814108x+79255.5673684974$	決定係数=0.0614
対 数	$y=35211.2910255572\log x-261789.228558026$	決定係数=0.0611
指 数	$y=8054.21810699589-9.30601147868418E-15*1.02007732215517^x$	決定係数=0.0457
ロジスティック	$y=8054.21810699589/(1+3.89319320100984E-24\exp^{-0.0263177657277907x})$	決定係数=0.0510

注:平成14年～平成28年のデータにより推計

(百万円)

図2-13 商業販売額将来推計(実質販売額)



平成14年 平成16年 平成19年 平成24年 平成26年 平成28年 平成32年 平成37年 平成42年 平成47年